

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立扇台小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒921-8141
金沢市馬替1-34

E-mail : ougidai-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/ougidai-e/>

児童生徒数：男子 205名 女子 189名 合計 394名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

1 ユネスコスクールとしての取り組み

“暮らす”の観点から、金沢や地域がもつ様々な伝統や文化、自然、歴史、人々を通して、金沢や地域について学び、誇りと愛着を持ち、よりよい社会の形成に参画する資質と能力を育てる。

“生きる”の観点から、学校近くの河川・ホタルの生息について調べ、自然環境・地球環境の保全の大切さを知る。

(1) 3年生 テーマ「ぼくらは町のたんけんたい」(地域)

地域の名人さんを探し、名人の技を体験させていただくことで、「技や工夫・その思い」を学んでいる。今年度は「空手」「太極拳」「お茶・和菓子」を体験することができた。実際に見たり体験したりすることで、その道に長けた名人さんの技術や心意気を感じることができた。体験の後には「空手」「太極拳」「お茶・和菓子」の3グループに分かれ、学んだことをまとめて全校に向けて発信することで、伝統ある金沢や地域のすばらしさをあらためて感じる事ができた。

(2) 4年生 テーマ「ホタルが住み良い環境について考えよう」(地域・命)

今年度も中庭にあるホタル小屋で、ホタルの飼育に取り組んだ。ホタルの成虫を見たことがある子は少なく、まして卵から飼育することは初の経験である。餌やりや水換え、観察日記の記入など、夏休みも休まず行った。ホタルの幼虫の世話をすることやホタルについて調べることを通してホタルにも人にも住みやすい環境について考え始めた。

そして、ホタルの一生や飼育方法、住みやすい環境について、全校集会で保護者や他学年の児童に向けて発信する活動を通して、ホタルの命の儚さ、それでも連鎖していく命のすばらしさに気づき、環境を創っていくのは自分たちであることを自覚できた。

(3) 5年生 テーマ「よりよくしよう！ 私たちの高橋川」(環境・奉仕)

校区を流れる高橋川探検をもとに、高橋川やその周りの環境に興味を持ち、「水質調査」や「人とのかわり」について追究した。高橋川探検では、川の流れと周りの様子の変化・水質の違いを実際に体験することができた。さらに、宿泊体験で山中に出かけた折、岩の大きさ・流れの速さ・川幅の広さ・生物など、上流の河川の様子を観察した。また、夏季休業中には、ボランティア活動として高橋川のゴミ拾いを行った。

そして、全校集会では「川の様子・人とのかわり・ゴミや水質・生物」のテーマに関して、プレゼンテーションソフトを使って全校児童に発表することができた。この活動を通して、児童は地域の歴史と人とのつながりをあらためて感じ、校区の環境を守り維持していく必要性を自覚することができた。

(4) 6年生 テーマ「夢のコンサート」(伝統・国際)

「アンサンブル扇台」として、様々な場面で演奏活動を行った。ここ数年続けているこの活動は、下級生にとって憧れの対象となっている。

4月から様々な国の楽曲や学期を扱い、音楽を通してその国の活動に触れることから始めた。練習の過程では、学期や演奏を教えてくださいの方々と一緒に演奏する友、演奏を聞いていただける聴衆の方々と関わりながら、自分のパートを責任持って演奏するだけでなく、他の音を聴きながら調和させることが重要であり、一つ一つの音が重なり合うことで楽曲として完成することを体感することができた。また、対外的に地域で演奏を行い、交流を深めることも行った。

そして、学びの集大成として全校や保護者へ向けたコンサートを行い、自分たちを支えてくれている家族や様々なことを教わった方々への感謝の気持ちを表すことができた。これは、一年間を通じた、自己肯定間と自信を高める活動となった。

その他、金沢の文化にふれる学習として、金沢城や兼六園の歴史や技術、保存の工夫について学び、金沢検定に挑戦した。

2 成果と課題

地域の人材を活用した体験活動を通し、自ら課題に取り組む姿勢が見られるようになってきた。また、発信の場では何をどのように伝えるかという、相手意識をもった表現ができるようになってきた。

しかしながら、地域の環境も変化しつつあるため実践内容の見直しが必要なものがあると感じている。また、他校との交流や小中一環教育を考慮する必要があるだろう。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)